

P-A-3

ハトムギ抽出エキスと葉酸併用療法により治癒した 膣壁尖圭コンジローマの1例

Curative effect of the extract of Coix seed and folic acid on a patient with
vaginal condyloma acuminatum

○鈴木 信孝、川島 拓也、鈴木 里芳、滝本 裕子、Jeffrey Michael Strong、
徳田 春邦、Andrew Schneider、新井 隆成

金沢大学大学院医学系研究科

We are evaluating the synergy effect of the extract of Coix seed and folic acid. Extract of Coix seed (4 g/day) + folic acid (15 mg/day) + vitamin B complex (75 mg/day) was administered with informed consent to a patient with condyloma acuminatum. The nodules disappeared at the 8th week and no recurrence was observed.

【目的】

我々は、これまで様々なヒト乳頭腫ウイルス性疾患に対する殻付ハトムギ熱水抽出エキスと葉酸の併用療法に関して検討しているが、今回、膣壁尖圭コンジローマに関する知見を得たので報告する。

【臨床経過】

症例: T.M41 歳女性。産婦人科を受診した際、膣壁 9° - 10° 方向から子宮頸部にかけて広範囲に尖圭コンジローマを認め、臨床試験に参加目的で紹介された（ハトムギに関する臨床試験は日本補完代替医療学会において審査）。インフォームドコンセント下に、ハトムギ熱水抽出エキス（CRD エキス: 株式会社 ALT）4g/日（朝 2g、夕 2g）を 8 週間、葉酸（フォリアミン）15mg/日ならびにビタミン B 群（B1・B6・B12）75mg/日を 4 週間投与し、病変部はコルポスコピーによって観察した。投与 2 週間目には、病変部は縮小し、3 週間目には白色隆起病変はかなり退縮し、結節の境界も明瞭になり、8 週間目には完全消失した。なお、尖圭コンジローマの確定診断は 6 週間目に生検によって行なった。

【結論】

一般的に尖圭コンジローマの治療としては、イミキモド塗布剤が広く使用されているが、本薬剤は尿道、膣内、子宮頸部、直腸・肛門内への使用はびらん等重篤な粘膜障害が発生する危険性があるので禁忌となっている。したがって、イミキモドが使用出来ない部位での尖圭コンジローマ例では、本法は有用な治療法として活用できる可能性が示唆された。今後は、さらに症例数を増やして検討する予定である。